

令和5年度

東伏見小学校

地域とともにある学校づくり

5年生

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名：「下野谷 PR 大使になろう」
(活動名)

ねらい：自分たちの住む町の下野谷遺跡について、現地調査やインタビュー、ネット検索等を活用して調べ、下野谷遺跡の魅力PR活動を通して、下野谷遺跡の保存に携わる人の思いや地域の願いに気づき、地域のために自分にできることを考えることができる。

【5月30日】



学芸員の方からお話を聞きながら、下野谷遺跡公園を見学した。復元された住居の下には本当の遺跡があることや当時の暮らしについて知った。

【6月26日】



下野谷遺跡のことを調べて分かったことを、ターゲット(1年生)に知らせる方法について企画書を作成し、内容を班で話し合った。

【7月18日】



自分たちが考えた企画の実行に向け準備をした。1年生を迎え、発表会をした。模型や紙芝居、クイズやミニゲーム等、工夫を凝らした発表だった。

【10月12日】



2学期は伝えたいターゲットを自分たちで決め、そのターゲットに合った伝え方を選択し、企画書を作成している。アドバイスをし合いながら活動している。

コラム

下野谷遺跡公園の竪穴式住居が復元されたり整備されたりしたことをきっかけに、東伏見小学校の5年生は下野谷遺跡の魅力を再発見しました。まだ下野谷遺跡のことを知らない1年生をはじめ、家族や地域の人、新しく来た先生方にも知ってもらいたいという思いをもち、この活動をスタートしました。下野谷遺跡を学習することを通して、地域に愛着をもってもらいたいです。